

教員公募

【概要】 学長リーダーシップによるダイバーシティとインクルージョン実現の一環である「女性教員の計画的増員」方針に基づき、「女性教員キャリアデザイン制度」による任期の定めのない准教授（または講師）を公募いたします。なお、今回は女性限定公募といたします。東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。

1. 募集人数

准教授または講師 1名

2. 所属

東京農工大学 工学部 生体医用システム工学科

3. 専門分野

生体医用工学に関わる分野、例えば、

- a. 生物物理学や分子生物学などを基礎にした生体现象の機序解明や治療技術の研究開発を行う分野
- b. AI・機械学習を用いた診断技術、治療技術、生体信号解析の研究開発を行う分野
- c. 生体への埋め込み型や密着型の電子デバイスにより、人体拡張技術や診断・治療技術の研究開発を行う分野

なお、本公募は「女性教員の計画的増員」に基づく採用計画であり、対象者を女性に限定します。既存の学問領域にとらわれない医工融合研究のもと、独立した研究室を運営し、独自の研究を邁進できる教員を選考します。

4. 応募資格

博士の学位を有し、3年以上の研究機関等での勤務経験を有する女性研究者で、上記の分野の教育・研究キーワードに該当する領域において、独創的な研究を推進している方を対象とします。

5. 着任時期

2022年11月1日以降のできるだけ早い時期

6. 上位職選考

研究・教育を推進する経験を重ねた採用5年後に上位職選考を実施します。不適格となった場合でも、6年目以降に再選考を受けることができます。（ライフイベントにより研究を中断した場合は、上位職選考及び再選考の時期を延期できます。）

7. 勤務地

東京農工大学小金井キャンパス（東京都小金井市）

8. 勤務形態・待遇

常勤職員。給与は年俸制、職位・学歴・経験年数による。独立した研究室を運営でき、研究室の立ち上げに必要なスタートアップ資金(3年間で300万円)配分、研究環境構築支援、メンターの配置を行います。また女性未来育成機構による各種学内支援制度を活用することにより、ライフイベント中の支援を受けることができます。これらの取り組みは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」(昭和47年法律第113号)第8条の規定に基づき実施しています。詳細は、東京農工大学女性未来育成機構 HP(<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/>)を参照ください。

9. 提出書類

- (1) 履歴書(写真添付、住所、E-mail アドレス記載)
 - (2) 研究業績リスト(原著論文、著書、国際会議、口頭発表、特許、受賞歴、外部資金獲得実績(代表、分担を明記)、学会活動、社会貢献活動、その他特記事項などに分けて記載してください。)
 - (3) 主要論文(5編以内)
 - (4) これまでの研究成果の概要(和文あるいは英文、A4で2ページ)
 - (5) 着任後の研究計画および今後の展望(和文あるいは英文、A4で2ページ)
 - (6) 大学教育に関する抱負(和文あるいは英文、A4で1-2ページ)
 - (7) 研究や人物について照会可能な方2名の氏名と連絡先
- 提出書類一式を1つのPDFファイルにまとめて、JREC-IN Portal の Web 応募により提出して下さい(複数のPDFファイルを圧縮して1つのファイルにすることも可)。

10. 応募締め切り

2022年7月11日(月) 必着

11. 選考方法

提出書類に基づく書類審査の後、若干名を面接審査します(8月上旬を予定)。面接審査のための旅費は応募者の負担とします。選考に関する連絡は、原則として電子メールで行います。

12. 問い合わせ先

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16

東京農工大学 工学部 生体医用システム工学科 榊田晃司

E-mail: masuda_k[at]cc.tuat.ac.jp

* [at]は@に置き換えてください。

(書類の提出は、郵送では受け付けておりませんので、ご注意ください)